

奥の細道むすびの地「大垣」 十六万市民投句

一般の部

令和三年度九月 入賞句一覧 投句数 四百五十三句



特選

大垣 武直 選

バーボンの氷鳴らせり夜の秋

神奈川県横浜市 龍野 ひろし

「夜の秋」は晩夏の季語。昼はまだ暑いのに、夜になると秋の気配が漂うこと。バーボンウイスキーのオンザロックを作る。軽く揺すつて氷を鳴らす。色、香り、音、舌ざわり、そして、季節の変り目の微妙な感覚を楽しんでいる。

父も子も半ズボンなり肩車

大垣市 北島 暁子

祭りや花火大会などの日に、人波の中を若い父親が子供を肩車して歩いているのを見かけることがある。子供は目線が高くなり、物がよく見えるようになって大喜びする。父の太い脚と子のかわいい脚。ほのぼのとした愛情が伝わってくる。

反魂丹ひとつもらひし風の盆

奈良県奈良市 やまとなでしこ

反魂丹は食当りや腹痛に特効のある丸薬で、富山の薬売りが全国に広めた。風の盆は風の神を鎮め、豊年を祈る行事。越中おわら節の胡弓の音が心に沁みる。踊りの途中で腹痛にでもなったのだろうか。富山ゆかりの固有名詞がよく効いている。

秀逸

旧姓で声掛けられし花火の夜

愛知県豊田市 岡田 信子

風鈴に百の音色や一つ買ふ

東京都世田谷区 関戸 信治

土用干し折目正しき母の衣よ

不破郡垂井町 清水 るり

噴水のぶつかる空の青さかな

不破郡垂井町 竹嶋 富美子

病窓より見ゆる病窓秋ともし

大垣市 小林 研

寄せ植えの花と語りて秋の風

大垣市 鶴田 信子

ペン先の辿る記憶や夜半の秋

三重県四日市市 後藤 允孝

帰省子の夕餉待つ間のハーモニカ

安八郡神戸町 高橋 泰

搦手は木曾の大河や城の秋

愛知県豊田市 城山 悠水

軒風鈴あるか無きかの風拾ふ

三重県三重郡 水野 悦子

入選

父の声の方へと伸びる捕虫網

神奈川県大和市 岩田 爾瑠

熊蟬の鳴くだけ鳴いて命果つ

愛知県額田郡 平松 京師

若者のジーンズに穴秋暑し

奈良県奈良市 やまとなでしこ

三層の雲の天辺大夕焼

大垣市 立川 昌子

新涼や空にふわりと雲ふたつ

大垣市 娑 婆

ひとしきり母を呼ぶ声落とし文

養老郡養老町 佐藤 咲楽

つぎ当てしズボンの裾よ秋隣

大垣市 藤岡 啓子

鯉の尾の水面をたたき秋暑かな

愛知県名古屋市 舘野 茂子

金網の錆の向かふに今日の月

東京都新宿区 花澤 ちいこ

裏返りかなぶん命果てにけり

不破郡垂井町 傍島 法苑

名水に触るる歯応へ心太

岐阜市 花川 和久

熊蟬や仁王怒りの力瘤

大垣市 神野 武彦

光ごと朝採りの茄子手に受くる

福井県敦賀市 山田 美千代

放牛の乳房にかかる草の花

安八郡輪之内町 野村 照子

かぶと虫飛ぶこと忘れ破船めく

三重県四日市市 井戸 康子

襟足の揺るる後れ毛踊の輪

三重県四日市市 後藤 允孝

西瓜冷やすつるべの音の響く井戸

福岡県福岡市 大津 英世

鈍色の雲じつとしている秋暑

安八郡安八町 渡辺 ひろこ

新涼や始発電車のベルの音

大垣市 傍島 隆

吊革の動きのとまる残暑かな

神奈川県横浜市 龍野 ひろし

選者吟

麻痺の手で放るポツチャの爽やかに

武直

一般の部

